

KED-850Z

取扱説明書



KINDER
株式会社キンドア
104-0033 東京都中央区新川2-1-5
tel:03-5540-5851 fax:03-5540-5152

1. はじめに

本装置は臭気を軽減するための脱臭装置です。本装置が常時最高の状態で運転される為には、各機器の適切な保守管理が必要です。本取扱説明書に従い、安全な運転を行って下さい。

本装置に故障又は異常事態が発生し、本取扱説明書の範囲で対処できない場合は、下記まで御連絡下さい。

連絡先 株式会社カルモア 建築設備チーム
〒104-0033 東京都中央区新川2-9-5
TEL 03-5540-5855 / FAX 03-5540-5854

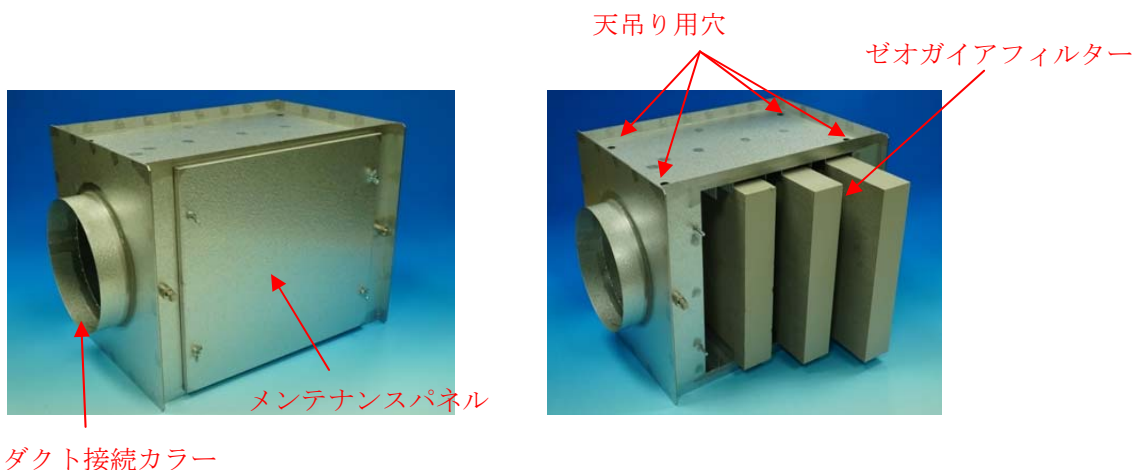
2. KED-850Z 取扱上の注意点

- ① 厨房排気の脱臭にゼオガイアフィルターを用いる場合は、グリスフィルターやミストセパレーター等の設備を併用しオイルミストや水分ミストを十分に除去して下さい。オイルや水分がゼオガイアフィルターに過剰に蓄積すると脱臭効果が十分に発揮されない場合があります。
- ② KED-850Zの上に人が乗ったり、物を置いたりしないで下さい。設置の際には落下等の衝撃を与えないようにして下さい。衝撃による変形はフィルター目詰まりの原因となり、処理風量の低下を引き起こす場合があります。また、梱包材等がフィルター表面に付着した場合も同様なトラブルが予想されますので、ご注意下さい。
- ③ KED-850Zに実装されているゼオガイアフィルターは不燃性を有する材料で構成されており、フィルター自体が発火することはありません。しかし、フィルター表面に繊維屑や塵埃、食用油等が堆積し引火した場合、火炎を消火する作用はありませんので御注意下さい。
- ④ KED-850Zの脱臭性能維持のため、厨房内でのグリスフィルターのメンテナンスをしっかりと実施して下さい。また、総務省消防庁「グリス除去装置の構造等の基準（平成8年8月15日付消防予第162号）」に準拠したグリスフィルター等をご使用下さい。
- ⑤ ゼオガイアフィルター通過後の排気は、所定の脱臭効果により臭気が低減していますが無臭ではありません。臭気が強い排気は効果的に脱臭し、臭気が弱い排気に対しては臭気物質を徐放することで脱臭効果を長期間維持します。但し、ゼオガイアフィルターは長時間強い臭気と接触し続けると、著しく脱臭効果が損なわれることがあります。その場合は、徐放を促進するために新鮮空気を供給する措置を講じるか、ゼオガイアフィルターを新品と交換して下さい。
- ⑥ KED-850Z通過後の排気は、希釈効果が大きくなる様な位置、方向、風速等を定めて下さい。

3. KED-850Z機器仕様

型 式 : KED-850Z
素 材 : ゼオガイアフィルター 不燃性セラミック無機繊維
吸 着 材 料 : 合成ゼオライトを含む粘土鉱物、多孔質無機繊維等
形 状 : 積層コルゲートハニカム
寸 法 : 300W×300H×60t
重 量 : 約15kg程度
推 奨 温 度 : 0～60℃
推 奨 湿 度 : 0～90%（結露無い事）
設 計 面 風 速 : 1～3.0m/sec前後（標準設計値）
設 計 圧 力 損 失 : 8.2～34.2Pa/段 ※2段実装時：16.4～68.4Pa

4. 脱臭装置各部の名称



5. ゼオガイアフィルター装填方法

- ① メンテナンスパネルを開ける。
- ② 内部にゼオガイア脱臭フィルターを必要段数挿入する。
- ③ フィルター設置後メンテナンスパネルを閉めて設置完了。

6. 点検実施時の確認事項

《脱臭性能の確認》

- ① 臭気発生ピーク時に、脱臭装置の前後にて臭気をサンプリングする。
- ② 採取した臭気を三点比較式臭袋法にて臭気濃度算出し、脱臭性能を確認する。

《機器の状態確認》

- ① 排気風量を測定する。
- ② 脱臭装置前後にて圧力損失測定を行う。
- ③ プレフィルター・脱臭フィルター表面の汚れ具合を目視確認する。

※カルモアにて点検作業を実施する場合は有償にて承ります。

7. ゼオガイア、プレフィルターの交換方法

- ① メンテナンスパネルのネジを全数緩め、メンテナンスパネルを開ける。
- ② 順次ゼオガイアフィルターを引き抜く。
- ③ 交換用ゼオガイアを「5.ゼオガイアフィルター装填方法①～③」の手順に従って挿入する。
- ④ プレフィルターのろ材を定期的に交換する。
- ⑤ メンテナンスパネルを閉め、ネジを全数締め付ける。

8. 消耗品

品名	取替基準・目安	備考
ゼオガイアフィルター	臭気除去性能が低下した時。 オイルミストの付着が少ない一般的な厨房排気の場合で 3 年毎に 1 段交換が目安。	
プレフィルター	オイルミストの付着が著しく目視で目詰まりだと判断した時。 差圧計で初期の 2 倍以上の圧損となった時。（差圧計は付属しません）	

9. トラブルシューティング

状態	原因	処置
脱臭装置出口でにおいが気になる	ゼオガイアの交換のタイミング	ゼオガイアの交換をしてください。 カルモアへご連絡ください。
	メンテナンス扉が締め付けられていない。	メンテナンス扉の締め付け状態の確認を行ってください。
	入口臭気が強くなった	入口臭気の確認を行ってください。
風量が低下している	ダンバーが閉まっている	各部ダンバーの確認を行ってください。
	プレフィルターの目詰まり	プレフィルターを確認して、必要に応じてろ材を交換してください。
	送風機の不具合	送風機の確認を行ってください。
レンジフードの引きが悪くなった	排気経路にある各種機器が油煙で汚れて障害になっている	各種機器の状態確認を行ってください。
	送風機の不具合	送風機の確認を行ってください。
	ゼオガイアフィルターまたはプレフィルターの目詰まり	圧力損失測定・風量測定・目視確認を行ってください。目詰まりが確認された場合には清掃または交換を行ってください。

以上